

# 日本植生史学会ニュースレター

No.57 July 27, 2022

第 37 回日本植生史学会大会のご案内（第 2 報）・学会ニュース

## 第 37 回日本植生史学会大会のご案内（第 2 報）

日本花粉学会第 63 回大会を，第 37 回日本植生史学会大会と合同で，下記の要領で開催します。今大会は現地会場とオンラインによるハイブリッド方式での開催を行うべく準備を進めています。しかしながら，新型コロナウイルスの感染状況次第では，全てオンラインでの開催に変更する可能性があります。会員の皆様には学会ホームページ上の大会案内の告知にご注意いただく様に重ねてお願い申し上げます。

第 37 回日本植生史学会大会・日本花粉学会第 63 回大会 合同大会 HP

URI : <https://hisbot2022.main.jp>

◆ 開催日程 2022 年 9 月 30 日（金）～10 月 3 日（月）

◆ 会場

(1) 現地会場：奈良文化財研究所平城宮跡資料館 講堂

〒630-8577 奈良市二条町 2-9-1

<https://www.nabunken.go.jp/hei-jo/museum/>

アクセス 近鉄大和西大寺駅から徒歩で約 15 分。

(2) オンライン会場：大会ホームページ上

<https://hisbot2022.main.jp/>

◆ 主催 日本植生史学会 日本花粉学会

共催 奈良文化財研究所

◆ 大会実行委員会（電子メール [taikai37\(at\)hisbot.jp](mailto:taikai37@hisbot.jp) (at)を@にしてください）

星野安治（委員長），山崎健，庄田慎矢，西原和代，浦蓉子，上中央子，前田仁暉，真邊彩，池田浩己，伊藤由紀子，林竜馬

◆ 開催方法

公開シンポジウム，一般研究発表（口頭・ポスター），奨励賞記念行事，総会は，現地会場とオンラインでのハ

イブリッド形式で開催します。口頭発表は、現地会場からの発表およびオンライン発表とも可能です。ポスター発表は、現地会場での掲示およびオンライン掲示の両方、もしくはオンラインのみでの掲示が可能です。会場への参加は40名を定員とし、申込先着順とします。

◆ 参加資格

公開シンポジウムは、非会員の方でも参加できます。その他については、非会員の参加・発表はできません。参加・発表をご希望の方は、日本植生史学会ホームページからご入会下さい (<http://hisbot.jp/about/regist>)。

◆ 参加費

無料。ただし、参加するためには事前登録が必要です。

要旨集はオンライン上でも見ることはできますが、冊子体要旨集が必要な方は、事前申し込みいただければ実費にて購入可能(1000円程度を予定)です。現地会場へ参加される方は、当日に受付にて冊子体要旨集代金をお支払ってください。郵送を希望される方は、別途大会実行委員会までご連絡ください。

◆ プログラム (予定)

9月28日(水) 講演要旨集・一般研究発表(ポスター)の大会ホームページへの掲示

9月30日(金) 午後:花粉学会 普及書編集委員会, 編集委員会, 評議員会

10月1日(土) 午前:一般研究発表(花粉学会口頭), 花粉学会総会

午後:公開シンポジウム, オンライン懇親会

10月2日(日) 午前:一般研究発表(ポスター)

午後:植生史学会総会, 一般研究発表(植生史学会口頭)

10月3日(月) 午前:エクスカージョン

◆ 懇親会

10月1日(土)に、オンラインでの開催を予定しています。当日は「日本酒の日」ということで、様々な企画を検討中です。詳細は、決まり次第、大会ホームページでお知らせいたします。

◆ 宿泊案内

各自でご予約ください。大会会場周辺には宿泊施設が少ないですが、近鉄新大宮駅もしくは近鉄奈良駅周辺には宿泊施設がございます。大会会場最寄駅の近鉄大和西大寺駅へは、JRからのアクセスがしにくいのでご注意ください。

◆ 大会参加・一般研究発表の申込方法

下記の申し込み締め切りまでに、大会ホームページ(7月に公開予定)の申し込みフォームから直接お申し込み

ください。一般研究発表を行う場合、参加申込時に、タイトルを予め記入しておく必要があります。

<申し込み・要旨・発表データの締め切り>

8月26日（金）：一般研究発表・現地参加希望申し込み

9月9日（金）：一般研究発表要旨提出

9月20日（火）：オンラインポスターデータ提出，オンライン参加（一般研究発表なし）・オンライン懇親会申し込み

#### ◆ 展示物

展示物を希望される方は、8月26日（金）までに、大会実行委員会へご相談ください。

#### ◆ 一般研究発表

発表と質疑応答の要領の詳細については、1か月前を目途に大会ホームページに掲載予定です。申込み多数の場合、口頭発表／ポスター発表の変更をお願いすることもあります。

<口頭発表>

現地会場からのおよびオンライン発表とも可能です。持ち時間は、質疑応答を含め15分程度を予定しています（申込件数によって調整）。

<ポスター発表>

現地会場での掲示およびオンライン掲示の両方、もしくはオンラインのみでの掲示が可能です。オンライン掲示のデータ提出は9月20日（火）まで、オンライン掲示は9月28日（水）から大会終了時までの掲示を予定しています。10月2日（日）午前のコアタイム時には、必ずホームページを閲覧できる状態にし、閲覧者とディスカッションを行ってください。なお、コアタイム前に、1件1～2分程度のフラッシュトークを行っていただく予定です。

<優秀発表賞について>

大会における若手研究者の優秀な発表を、優秀発表賞として表彰します。賞の趣旨・内容と審査対象者については以下の通りです。

1. 優秀発表賞の趣旨：日本植生史学会大会での若手研究者の積極的な研究発表と、植生史研究への投稿を促進することを目的として、大会での口頭発表、ポスター発表に対して賞を授与する。
2. 賞の内容と副賞：優秀発表賞の受賞者は大会終了後に通知し、表彰状を授与する。また、大会終了後1年以内に当該発表を植生史研究に投稿した場合、副賞を授与する。
3. 審査対象：発表者（筆頭者）が大学生・大学院生、もしくは大学卒業後または大学院（修士課程もしくは博士課程）修了後5年未満の会員に限る。

#### ◆ 発表要旨

一般研究発表要旨は下記の書式にしたがって作成し、9月9日（金）（必着）までに、大会実行委員会まで、電

子メールにてお送りください（送付先 taikai37(at)hisbot.jp (at)を@にしてください）。

<書式>

- ・A4用紙，縦レイアウトに横書きで，図表も含めて1ページ以内に収める。
- ・原稿は左右に2.5 cm，上下に3 cmの余白を設ける。
- ・講演タイトルの下に1行あけて氏名と（ ）内に所属を記入する。
- ・連名の場合は発表者の左側に○印を付ける。
- ・講演タイトルと氏名はセンタリングする。
- ・本文書き出しの前も1行あける。
- ・原稿はできる限りPDFファイル，もしくはMicrosoft Wordファイルで提出する。
- ・図表を挿入する場合はpdfファイルも併せて提出する。
- ・文字化けを防ぐため，特殊なフォントの使用を避ける。

◆ 公開シンポジウム『奈良の森と花粉と人のいま・むかし』

日本植生史学会と日本花粉学会の合同での大会に際し，「森」・「花粉」・「人」をテーマとした2部構成の公開シンポジウムを開催する。奈良は古代には，藤原京，平城京といった本格的な都城が造営された地であり，大型の木造建造物の造営に木材が多用されるなど，人間の植生に対する干渉が激しかったことが推定されている。一方，現在の奈良は，県面積の約7割が豊かな森林に覆われており，県南部の吉野地域においては吉野杉をはじめとした林業が基幹産業となっている。このような背景のもと，第1部では遺跡を対象とした花粉分析や出土木材の検討から，古代における奈良の植生や木材の利用について，研究の現状と課題について議論する。第2部では，奈良や近畿における民俗学的な森林利用，また花粉飛散の状況や花粉症に関する医学的な臨床的対処がどのように進んでいるのかについて議論したい。

開催日程 2022年10月1日（土） 13：30～17：30

会場 奈良文化財研究所平城宮跡資料館 講堂 + オンライン

本シンポジウムでは，以下の講演を予定しています（テーマ・演題は，すべて仮題です）。

第1部「古都奈良の植生と木材利用」（日本植生史学会主体）

「奈良時代の植生や木材利用はどのように語られてきたのか」 前田仁暉（京都大学・博士後期課程）

「遺跡の花粉分析データからみた奈良盆地の森林植生の変遷」 上中央子（奈良文化財研究所・客員研究員）

「古代の奈良盆地における木材利用の変化」 浦蓉子（奈良文化財研究所・研究員）

第2部「奈良の森林利用と花粉症の過去・現在・未来」（日本花粉学会主体）

「吉野の林業と森林利用の民俗学的変遷」 森本仙介（奈良県文化財保存課）

「関西の花粉飛散状況の現状」 小原由美子（日本気象協会）

「奈良における花粉症と治療の現状」 山下哲範（奈良県立医科大学）

◆ エクスカーション『春日山原始林』

公開シンポジウムでテーマとする奈良の森について、現在の状況を観察するエクスカーションを開催する。奈良市街の東方に位置する春日山原始林は、春日大社の神域として古くから狩猟や伐採が禁止されてきた。シイやカシなどの常緑広葉樹林を主とする照葉樹林が、都市に隣接して残る貴重な森林であり、春日杉と呼ばれるスギの大木や、モミ・ツガなどの針葉樹も生育している。今回のエクスカーションでは、春日山原始林をフィールドに長年にわたり生態調査を続けられている大阪産業大学の前迫ゆり教授にご案内いただき、現在の奈良における自然度の高い森についての理解を深めたい。

※ 本エクスカーションは、遊歩道を歩きながらの観察になります。

※ 若草山入山料（150 円）がかかる予定です。

※ スニーカー・トレッキングシューズなど、歩きやすい服装をお願いします。

※ 少雨決行しますので、カッパなど雨具をご準備ください（荒天時は中止します）。

日時 2022 年 10 月 3 日（月）9：30～12：30

集合 春日大社本殿バス停（春日大社国宝殿前駐車場）

解散 若草山山頂もしくは若草山山麓を予定

案内人：前迫ゆり 世話人：上中央子，星野安治，浦蓉子，真邊彩，林竜馬

## 学会ニュース

● 会費納入のお願い

2022 年度の会費納入にご協力ください。

日本植生史学会会費（2010 年度より）一般会員：6,000 円・学生会員：3,000 円・シニア会員：3,000 円・団体会員：8,000 円・賛助会員：一口 20,000 円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等がある方は、以下の日本植生史学会事務局にご連絡ください。

事務局：

●連絡・問合せ 庶務幹事 村上由美子 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館

TEL：075-753-3279 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp

●NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 西内李佳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp

●入会・異動・退会の申し込み，バックナンバーの購入，メーリングリストアドレスの登録・変更，NL発行

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 株) 春恒社 学会事業部内

日本植生史学会事務局

Tel：03-5291-6231 Fax：03-5291-2176 Mail：hisbot-office01@shunkosha.com

●学会ホームページ <http://hisbot.jp/>